



資料5

# 神奈川県肝炎対策推進計画の進行管理について

## 計画の進行管理について

- **県肝炎対策推進計画については、前計画（平成30～令和4年度）より数値目標を設定し進行管理を実施**
- **今計画（令和5～9年度）の進行管理は他計画の手法を参考に実施したい**

## 前計画の進行管理方法

毎年度は進捗率を基にA～Eで「判定」 ※「評価」は次期計画改定年度・最終年度

### 柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

#### <目標>

個別目標	肝炎に対する認知度（どのような病気か知っている割合）の向上
目標項目	『県民ニーズ調査』における肝炎に対する認知度 <b>60.0%</b>

#### <年度別達成目安>

基準値	計画当初(A)	1年目(B)	2年目	3年目	4年目	目標値
(R4)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)
50.9%	<b>50.9%</b>	<b>52.7%</b>	54.5%	56.3%	58.2%	60.0%

#### <進捗状況>

現状値 (C)	進捗率【伸び率】 (C-A)/(B-A)	判定
<b>54.0%</b>	<b>172.2%</b>	<b>A</b>

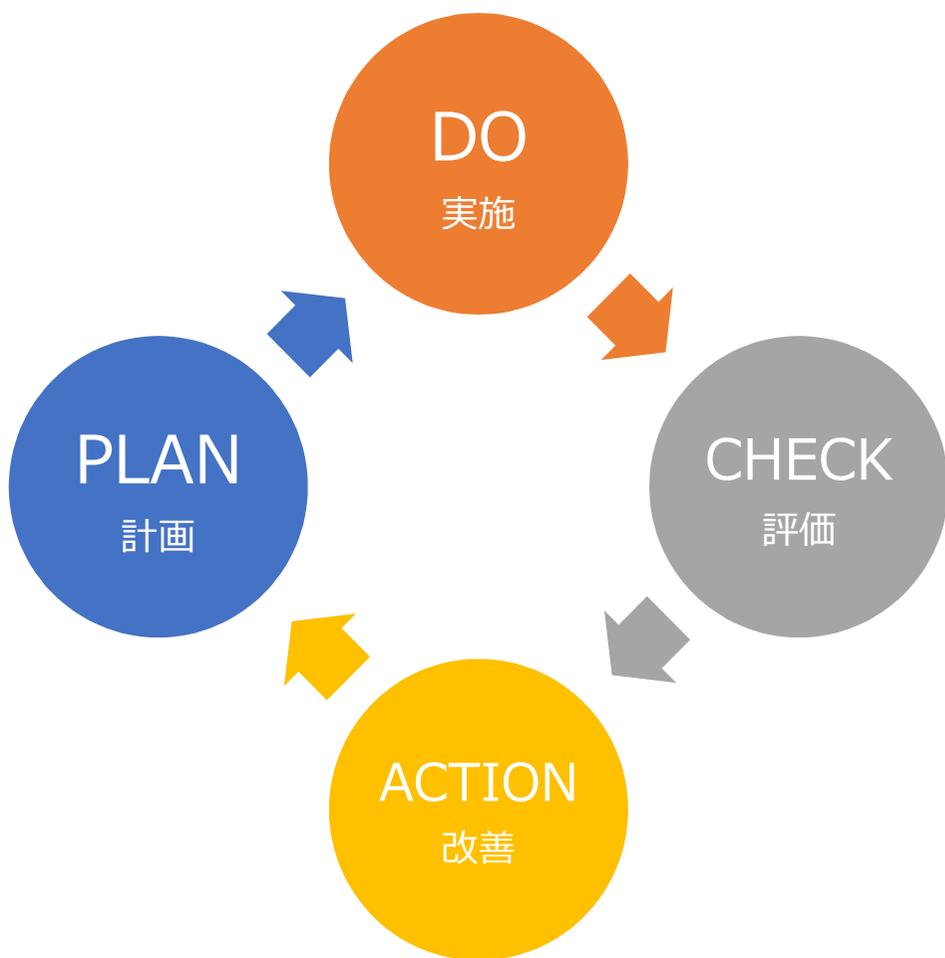
## 前計画の進行管理の手法上の課題

○ **最終目標も念頭に、  
全体について専門的知見に基づくご助言をいただく  
⇒ 進捗率の計算や判定表記が、  
全体的な見やすさに欠けていた**

- 進捗率の計算方法が「伸び率」に着目しているため、  
極端な数値が算出される場合がある
- 毎年の評価は行わないとしながら判定のレベルとして、  
「A～E」表記を行っている

**他計画の手法を参考に、  
進捗率の計算等の進行管理を実施したい**

# かながわグランドデザインの実施計画の進行管理方法



## ◆ PDCAサイクルの手順を基に進行管理

- ① 「政策のマネジメント・サイクル」に基づき、毎年度の**KPI（重要業績評価指標）**の進捗状況などにより「**政策評価**」を実施
- ② 計画の4年目に、「**政策全般の点検**」として、社会環境の変化を検証したうえで、実施計画に示した政策全般について点検を行い、新たな課題の抽出や政策改善の方向性の整理を実施し、次の計画策定に活かす

## ◆ 進捗率の計算方法

$$\frac{\text{現状値（当該年度実績）}}{\text{（当該年度の）達成目安}} = \text{進捗率}$$

## 現計画の進行管理（案）

毎年度は進捗率で管理 ※「評価」は中間年度・次期計画改定年度・最終年度

### 柱① 肝炎の予防及び正しい知識の普及啓発

#### <目標>

個別目標	肝炎に対する認知度（どのような病気が知っている割合）の向上
目標項目	『県民ニーズ調査』における肝炎に対する認知度 <b>60.0%</b>

#### <年度別達成目安>

基準値	計画当初(A)	1年目(B)	2年目	3年目	4年目	目標値
(R4)	(R4)	(R5)	(R6)	(R7)	(R8)	(R9)
50.9%	<b>50.9%</b>	<b>52.7%</b>	54.5%	56.3%	58.2%	60.0%

#### <進捗状況>

現状値 (C)	進捗率 (C/B)
<b>54.0%</b>	<b>102.5%</b>

# 現計画の進行管理（案）まとめ

## ◆ PDCAサイクルの手順を基に進行管理

- ①「進捗状況」は、数値目標の達成状況で判定
  - ➔ 毎年の「評価」は行わない・・・「A」～「E」の判定表記はしない
- ②中間年度・次期計画の改定を行う時に**暫定評価**を実施
- ③計画最終年度計画目標に対する最終的な結果・実績に対して**確定評価**を実施

## ◆ 進捗率の計算方法

$$\frac{\text{現状値（当該年度実績）}}{\text{（当該年度の）達成目安}} = \text{進捗率}$$

協議会 開催年度	R 6 年度	R 7 年度	R8年度	R 9 年度	R10年度
実績報告	R 5 年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
評 価	現状報告	現状報告	中間年度 暫定評価	次期計画策定 暫定評価	計画最終年度 確定評価
進行管理	専門的知見に基づく 県施策への助言		計画期間全体における施策の推進結果に対する評価、 次期計画への意見・指摘や助言		